

DMP（データマネジメントプラットフォーム） 報告及び活用に係る説明会の開催

（ブランディング）

本年度の新規事業であるDMPを構築したことに伴い、先行的に四国の各県観光担当者及び県観光協会、四国内DMPを対象にした、DMP構築の報告及び活用に係る説明会を開催いたしました。

同事業は、四国の観光に関わる自治体・DMP等がデータに基づく事業展開を推進するものであり、従来の「経験や勘、思い込み」ではなく、今回構築したDMPデータを、課題解決のための施策立案や意思決定など、今後の各地域における誘客施策へ活用していただくことを目指しています。

本説明会は対面式で開催し、各種ダッシュボード（可視化後の観光データ）の紹介や利用時の注意点を踏まえた具体的な活用例の紹介いたしました。また、観光に関連する各組織の観光振興施策の立案や効果測定に、今後必要となるデータに関してヒアリングを行うなど、有意義な情報交換の場とすることができました。

当機構では引き続き、3月に徳島、香川にて本会を開催するほか、会員団体向けのオンライン説明会を開催することとしております。

（実施日/実施場所） 高知会場：2023年2月16日/高知城ホール 2階 中会議室
愛媛会場：2月17日/愛媛共済会館 4階 会議室「末広」

（参加者数） 高知会場：21人
愛媛会場：8人

（業務受託者） （株）ヴァリュース ソリューション局 和田 尚樹、石田 香枝、岡崎 賢吾

（機構参加者） 安藤副本部長、清水CMO、坂本マネジャー



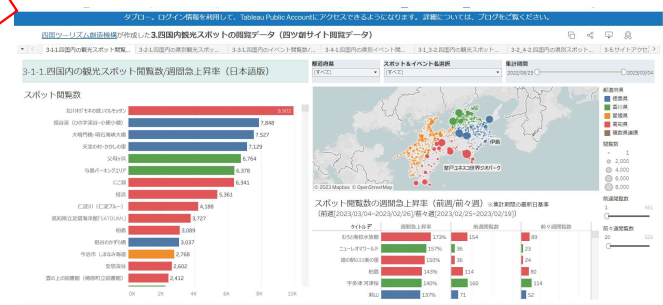
DMP概要を説明を行った後、受託事業者であるヴァリュースより、ダッシュボードの説明や、活用方法のレクチャーを受ける。



複数グループに分かれてワークショップ形式にて情報交換。データ上での気づきや、業務へ落とし込む案等を共有した。

データの種類	対象者	わかること	日本人	外国人
3.四国内観光スポットの閲覧データ (四ツ創サイト閲覧データ)	四ツ創サイト閲覧者	3-1.四国内の観光スポット閲覧数/週間上昇率	3-1-1.四国内の観光スポット閲覧数/週間上昇率	3-1-2.四国内の観光スポット&イベント閲覧数/週間上昇率
		3-2.四国内の県別観光スポット閲覧数	3-2-1.四国内の県別観光スポット閲覧数	3-2-2.四国内の県別観光スポット&イベント閲覧数
		3-3.四国内のイベント閲覧数/週間上昇率	3-3-1.四国内のイベント閲覧数/週間上昇率	3-3-2.四国内の観光スポット&イベント閲覧数/週間上昇率
		3-4.四国内の県別イベント閲覧数	3-4-1.四国内の県別イベント閲覧数	3-4-2.四国内の県別観光スポット&イベント閲覧数
		3-5.サイトアクセス都道府県別四国内のスポット&イベント閲覧数	3-5.アクセス都道府県別四国内のスポット&イベント閲覧数	—
		3-6.しこくるLPの閲覧数とアプリダウンロード先選移数	3-6.しこくるLPの閲覧数とアプリダウンロード先選移数	—
4.しこくるアプリ利用データ	しこくるアプリ利用者	4-1.インストールユーザー数/ユーザー属性	4-1.インストールユーザー数/ユーザー属性	—
		4-2.旅ばす獲得経路	4-2.旅ばす獲得経路	—

DMP一覧の一部

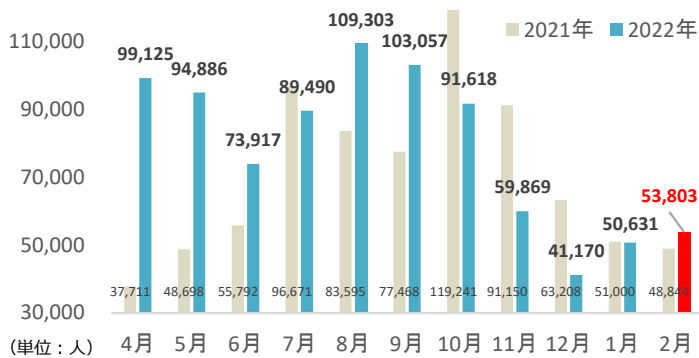


DMPダッシュボードの一例

今月のオウンドメディア情報等

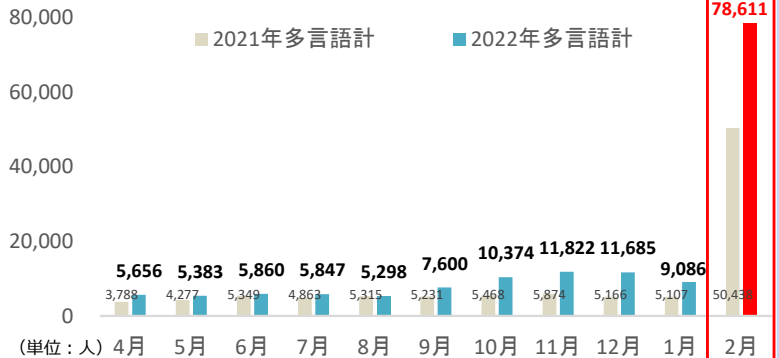
(清水CMOからの情報)

①日本語HP閲覧者数



②多言語計HP閲覧者数

(①②ともにGoogle Analytics)



【①②】

2023年2月は、昨年同月と比較すると、日本語HPは微増、多言語HPは大幅増となりました。

**JNTOとの連携事業による
メディア掲載と広告配信による効果**

【③】

②の多言語が大きく増加した要因として、日本政府観光局（以下、JNTO）と広域連携DMOの連携事業を実施した結果といえます。

連携事業は、訪日旅行に関心があり、また、アドベンチャートラベルに関心が高い層に対し、
・ランディングページを作成し、広告配信（アメリカ・イギリス・オーストラリア・カナダ市場）
・オンラインメディアとのタイアップ記事掲載
を行った事業となります。

その結果、機構の英語HPへのアクセス者数は前年から比べ、
アメリカ：203%、オーストラリア：679%、イギリス：283%、カナダ：343%と大きく増加し、四国の認知度向上に大きく貢献した事業となりました。

今後もJNTOとは連携を強化したプロモーション施策を展開してまいります。

リンク及びQRコードから各紹介ページも是非ご覧ください。



JNTOと連携し制作したランディングページ。

記事リンクは[こちら](#)



「BBC TRAVEL」
イギリスに拠点を置く公共放送局であるBBCの
旅行専門メディア。
記事リンクは[こちら](#)



「Travel + Leisure」
アメリカに拠点を置く高所得者層向けメディア。

記事リンクは[こちら](#)



「CNN」
アメリカに拠点を置く、大手ケーブル局CNNの
運営メディア。
記事リンクは[こちら](#)

四国 4 県タウン情報出版社との包括連携協定を締結しました

(マーケティング)

2月6日(月)、当機構と四国4県タウン情報出版社(株式会社あわわ、株式会社ナイスタウン、株式会社エス・ピー・シー、株式会社ほっとこうち)間で、各社の資源を有効に活用した協働による取組みを推進し、デジタル技術等を活用した国内外及び四国在住者への効率的な情報発信及び四国への更なる誘客促進を目的とした包括連携協定を締結し、記者会見を行いました。

包括連携協定締結後の取組みの一例として、当機構が開発した四国観光総合アプリ「しこくるり」を活用し、タウン情報出版各社が有している地域にある広く発信すべきコアでホットな情報を順次アプリに反映し、四国内外の観光客の皆様に広く発信する準備を進めております。

今後は引き続き相互の強みを生かした連携強化を図り、四国内周遊推進や更なる誘客促進に努めてまいります。

(記者会見日時) 2023年2月6日(月) 13:30~14:30

(記者会見会場) かがわ国際会議場

(記者会見出席者) (一社) 四国ツーリズム創造機構 代表理事 半井 真司、本部長 桑村 琢
(株) あわわ 代表取締役社長 岩佐 乃介
(株) ナイスタウン 代表取締役社長 吉田 洋子
(株) エス・ピー・シー 代表取締役社長 岡田 克志
(株) ほっとこうち 代表取締役会長 小野川 義人



記者会見の様子



協定書の締結

2022年度 四国ツーリズム創造機構 第4回 意見交換会及び交流会を開催

(マーケティング)

2月9日(木)、愛媛県で意見交換会及び交流会を開催しました。

第1部では、愛媛県内のDMOとの意見交換会、第2部では協賛会員、顧問及び愛媛県内賛助会員との意見交換会を開催しました。

第1部では、当機構の持続可能な観光の推進や観光アプリ「しこくるり」の活用について、愛媛県観光物産協会様やしまなみジャパン様からご質問があり、今後の展開について意見交換を行いました。

第2部では、道後プリンスホテル様からコロナ禍から現在までの道後の状況をご説明いただいた後、四国内流動・交流活発化についてご提案をいただいたほか、各県の皆様からは全国旅行支援の状況や現在の施策、取組み内容、来年度の方針等についてご説明をいただきました。

また、新型コロナウイルス感染症の対策を万全に行ったうえで、交流会も開催し、四国の観光振興に向けて連携して取り組んで行くことを確認しました。

水際対策も大幅に緩和され、約3年間運休が続いていた松山ーソウル線が再開されるなど、観光再興への期待が高まっております。

当機構では、意見交換会などで皆様からいただいたご意見を参考に、四国の観光振興に向けて取り組んでまいります。



愛媛県内DMOとの意見交換会



協賛会員・顧問・愛媛県内
賛助会員との意見交換会

(開催日/開催場所) 2023年2月9日(木) / ANAクラウンプラザホテル松山

(機構参加者) 意見交換会: 桑村本部長ほか9名、交流会: 半井代表理事ほか9名

イタリア国営放送「RAI」の取材及びテレビ放送について

(マーケティング)

イタリア国営放送「RAI」が四国を取材し、2月11日（土）12時半から13時半にかけて、その魅力を番組「LINEA VERDE LIFE日本編」で放送しました。

同番組ではJNTOローマ事務所の協力・調整のもと、「日出ずる国の2つの魂、すなわち、千年続く伝統と技術の進歩、自然の景観、大都市の美しさに触れる旅」として、四国と東京を取り上げています。

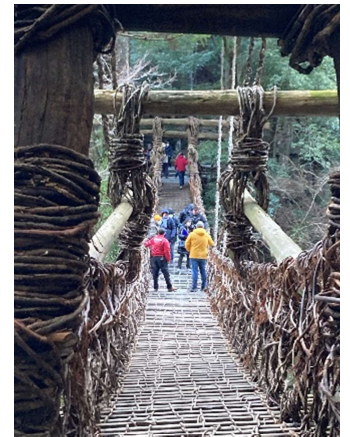
JNTOローマ事務所によると、「RAI」が四国（徳島）を取り上げた理由は、オンラインプラネットの「Best in Travel2022」地域部門で四国が世界第6位に選出されたこと、またその選出理由にサステナブルが挙がっていたことが大きな要因になっているとのことでした。

撮影隊はロケハンを含め1月16日（月）から日本入りし、同月27日（金）まで滞在しました。

同番組は、祖谷溪（かずら橋）、上勝町（ホテルWHY、RISE & WINBrewing Co. BBQ & General Store）、鳴門（渦の道、道の駅くるくるなると）、遍路（霊山寺）などを訪れ、地域のガイドや施設職員へ取材し、各コンテンツ・スポットの魅力をイタリアへ伝えてくれました。

視聴率が22.40 %（視聴者数約276万人）という、同番組過去最高の数値を記録したと報告を受けました。

当機構はJNTOローマ事務所に対して、取材先や宿泊場所の提案、関係機関との調整を行うなど、取材に協力しました。今後も引き続き、四国の魅力発信に取り組んで参ります。



かずら橋



霊山寺

国内旅行会社セールスを実施

(マーケティング)

昨年6月に引き続き、四国各県及びJR四国と連携し、本年度2回目となる旅行会社へのセールス活動を東京、名古屋、大阪（一部神戸を含む）で実施いたしました。

コロナ禍における体制の変化や、来年度への取り組み等についてヒアリングを行ったほか、各旅行会社が求めている情報等の把握・収集を行うとともに、四国の観光情報をお伝えいたしました。

また、今回は教育旅行部門の訪問先を増加したほか、新たに一般団体を担当している部署にも訪問し、四国に対するニーズや募集に向けた取り組みについて、情報交換を行いました。

【東京】

（日 程）2023年2月13日（月）～17日（金）

（訪問旅行会社）21社 ※訪問部署24箇所

（機構出席者）木本チームマネジャー、山本チームマネジャー、竹本マネジャー

【名古屋】

（日 程）2023年2月20日（月）～22日（水）

（訪問旅行会社）12社 ※訪問部署16箇所

（機構出席者）竹本マネジャー、谷本マネジャー

【大阪】

（日 程）2023年2月27日（月）～3月2日（木）

（訪問旅行会社）17社 ※訪問部署23箇所

（機構出席者）木本チームマネジャー、山本チームマネジャー、谷本マネジャー



「2023年南国土佐観光びらき 決起の会」に参加

(その他)

2月1日(水)に、観光シーズンの幕開けを宣言する「南国土佐観光びらき 決起の会」が2年ぶりに、高知市内のホテルで開催されました。

高知県では、NHK連続テレビ小説「らんまん」の4月からの放送や、桂浜公園のグランドオープン、よさこい祭りの70回大会といった観光客増加に資する内容が目白押しで、濱田省司高知県知事は「県観光のV字回復に全力で取り組む」とあいさつされました。

パーティーは、新型コロナウイルス第8波を考慮し、規模を縮小した「決起の会」として、観光関係の官民約100人が出席されました。

(参加日/場所) 2023年2月1日(水)
/ザ クラウンパレス新阪急高知
(機構参加者) 松本シニアマネジャー



伊予灘ものがたりを活用した 「大洲城下町 冬の新たな観光コンテンツ体験会」への参加

(その他)

愛媛県大洲市の観光を盛り上げようと、日本航空松山支店がJ.R.四国と大洲市と協力して企画したモニターツアーが実施され、県内外の旅行会社や自治体関係者ら20数名が参加しました。

大洲市の課題である冬季と平日の観光需要の落ち込みを、観光コンテンツを磨き上げることで解決する取り組みの一環です。

新しくできた肱川のこたつ舟での遊覧や、歴史的建造物「盤泉荘」の見学を行い、意見交換を実施しました。

(参加日/場所) 2023年2月2日(木)
～3日(金)
/愛媛県大洲市

(機構参加者) 桑村本部長



伊予灘ものがたり(松山駅 出発式)



大洲 NIPPONIAでの意見交換会

ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム

(その他)

2010年より(せとうち)讃岐ジオパーク構想を提唱し活動している香川大学の四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の長谷川修一副機構長を中心にシンポジウムが行われました。

景観や環境を損なうことのない持続可能な観光であるジオツーリズムは、香川県の歴史や自然、人々の暮らしや地場産業のルーツなどの探求にもつながることから、子どもの教育や大人の生涯学習にも資する観光です。

今回のシンポジウムでは、本年度までのジオツーリズムの取組と魅力発信についての活動報告、ジオグルメを牽引しているジオリブ研究所長・神戸大学名誉教授の巽先生の基調講演や観光関係者のパネルディスカッションが行われました。

(参加日/場所) 2023年2月15日(水)
/香川県高松市 香川大学 幸町・オーブスクエア

(機構参加者) 桑村本部長



四国サポーターズクラブ 総会

(その他)

四国サポーターズクラブ（以下「四国S C」）は、全国に先駆けて人口減少と少子高齢化が進み、地域経済の縮小や地域社会の衰退という課題に直面する四国において、地域における話題・にぎわいづくり、地域との共生・啓発活動を通して四国の活性化につなげる活動を行っております。この度、四国S Cの活動報告及び四国S C会員による地域活性化等の取組について情報共有を行い、四国S Cの活動をより一層効果的なものとし、四国の地域経済の発展に貢献するため、四国S C総会が開催されました。

四国S C共同代表である 四国旅客鉄道（株）取締役会長 半井 真司様、日本郵便（株）四国支社 支社長 安達 章様、四国電力（株）取締役会長 佐伯 勇人様からの挨拶や、四国SCプロジェクト報告、会員による地域活性化案件等の情報共有などが行われました。

（開催日/場所） 2023年 2月17日（金）
/香川県高松市 JRホテルクレメント高松

（機構参加者） 桑村本部長



四ツ創メンバーだった安藤副本部長が3月1日（水）に異動になりました

(その他)

出向元の四国電力の3月1日付の人事異動に伴い、四国ツーリズム創造機構への出向を解除され、新たに四国経済連合会に出向することとなりましたこと、謹んでご報告申し上げます。

当機構の副本部長（ブランディングチーム担当）を拝命しておりました在任中に、皆さまより頂きました、ご支援とご厚誼に対しまして、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、2020年7月の着任以来、2年8カ月、コロナ禍の真っ只中で、機構自体の活動はもとより、会員の皆さまの事業が大きく制約を受ける未曾有の危機のなか、「四国の観光ビジョン」の策定、四国周遊型ワーケーション推進事業、データマネジメントプラットフォームの構築、 marketer 育成事業など、次々と新たな事業に挑戦させて頂きましたこと、そしていずれも今後の当機構の活動にとって大切な取り組みとなっておりますこと、皆さまのご理解とご支援あってこそそのものと深く感謝申し上げます。

末文ではございますが、後任の副本部長（ブランディングチーム担当）として四国電力より、「神野俊二（じんのしゅんじ）」が着任いたしますので、私同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、離任のご挨拶とさせていただきます。



2023年 2月28日
副本部長 安藤 栄祐

代表理事の主な動静

- 6日（火） 四国4県タウン情報出版社との包括連携協定共同記者会見
- 9日（木） 2022年度 四国ツーリズム創造機構 第4回 意見交換会
- 13日（月） 定例会議（当機構の会議）
- 28日（火） 定例会議（当機構の会議）

後援・協賛等

(その他)

事業名	期間	備考（公式サイト等）
ミュージカル「ジョン マイ ラブ ～ジョン 万次郎と鉄の7年」	2021年9月2日（木） ～2023年3月 予定	http://www.botchan.co.jp/index.php (坊ちゃん劇場HP)
ミュージアム88カードラリーin四国	2021年10月1日（金） ～2023年9月30日（土）	http://www.museum88.com/index.php
四国活性化プロジェクト2022	2022年10月～2023年3月	https://www.shikokupj.com/
ジオツーリズムによる地域活性化シンポジウム	2023年2月15日（水）	https://www.kagawa-u.ac.jp/29496/
土佐の「おきゃく」2023	2023年3月4日（土） ～2023年3月14日（日）	https://tosa-okyaku.com/
ミュージカル「坊ちゃん劇場版KANO」 (仮)	2023年4月1日（土） ～2024年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html

3月以降の主な予定表

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月
マーケティング (国内)	ANA誘遊四国キャンペーン (10月1日～3月31日)					
マーケティング (国際)						
ブランディング	<ul style="list-style-type: none"> 第7回四国周遊型ワーケーション推進会議 (3月3日/香川) DMP報告及び活用に係る説明会 (3月6日/徳島、7日/香川) 四国の観光資源を用いた マーケティング実践研修 (3月13～15日/香川) 第3回四国「持続可能な観光」推進ネットワーク (3月17日/香川) 理事会・臨時社員総会 (3月27日/香川) 					

(一社) 四国ツーリズム創造機構

事業推進本部 ブランディングチーム 神野、松本

TEL : 087-813-0431 FAX : 087-813-0312

Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>

Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/?hl=ia>



SHIKOKUTOURISM